

事務事業名 生涯学習の推進

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる
施策	1	市民の主体的な学習の推進
小分類	2	生涯学習環境の充実
主要な施策	2	生涯学習指導者（学習支援者）の育成と確保
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 元 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名 教育部 グループ名 社会教育グループ

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	市民一人ひとりが自ら学び、学習成果を活用することで新たな学びを得るとい「知のサイクル化」を図り、豊かな心と生きがいを持つことのできる生涯学習循環型社会の構築を目的とする
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	家庭、学校、団体等の相互連携を図り、生涯学習を推進する。 また、生涯学習の実践発表や学習成果の活用機会を研究して提供するほか、生涯学習情報誌を発行して学習機会を提供する。 <生涯学習情報の提供> ・生涯学習ニュース（明日をひらく窓） 6回発行 ・生涯学習情報、生涯学習ガイド 6回発行 <生涯学習人材バンク> ・公民館・支所・老人憩の家・婦人研修の家等に設置及び市教委HPに掲載 <生涯学習連絡会の開催> ・市内小中学校と教育委員会・市長部局との意見交換の実施
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	生涯学習に関する情報提供を継続するとともに、学習成果の活用について他事業も含めて推進する。また、学校等や他事業での人材バンクの有効活用を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	131	100	177	177	177
事業費 合計			131	100	177	177	177

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	生涯学習情報誌の発行	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	6			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<ul style="list-style-type: none"> ・学習の成果を活用する機会の充実が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや事業での実践発表の他、学習者を講師とした講座等で「知のサイクル化」を図る。 	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について								
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	→	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">市が主体に行うべき事業である</td> <td rowspan="4" style="width: 35%; vertical-align: top;">判断理由及びその他所見</td> <td rowspan="4" style="width: 15%; vertical-align: top;">学習機会については民間においても提供されているが、成果の活用という部分では行政を含めて充分とは言い難い。学習成果の活用が今後の生涯学習において重要であり、当面は市が事業として取り組む必要がある。</td> </tr> <tr> <td>民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である</td> </tr> <tr> <td>国、道、他団体等との連携や広域化が可能である</td> </tr> <tr> <td>国、道、民間等の事業と重複・類似している</td> </tr> </table>	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	学習機会については民間においても提供されているが、成果の活用という部分では行政を含めて充分とは言い難い。学習成果の活用が今後の生涯学習において重要であり、当面は市が事業として取り組む必要がある。	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	国、道、民間等の事業と重複・類似している
市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	学習機会については民間においても提供されているが、成果の活用という部分では行政を含めて充分とは言い難い。学習成果の活用が今後の生涯学習において重要であり、当面は市が事業として取り組む必要がある。						
民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である								
国、道、他団体等との連携や広域化が可能である								
国、道、民間等の事業と重複・類似している								
2. 事務事業の必要性について								
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	→	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">市民、団体等から具体的な要望がある</td> <td rowspan="4" style="width: 35%; vertical-align: top;">判断理由及びその他所見</td> <td rowspan="4" style="width: 15%; vertical-align: top;">いつでも、だれでも、どこでも学ぶことができるという生涯学習社会を構築するために、行政の役割は大きい。</td> </tr> <tr> <td>市民アンケートの結果から必要性が高い</td> </tr> <tr> <td>社会情勢、地域事情等から必要性が高い</td> </tr> <tr> <td>市民の大部分が関連することから必要性が高い</td> </tr> </table>	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	いつでも、だれでも、どこでも学ぶことができるという生涯学習社会を構築するために、行政の役割は大きい。	市民アンケートの結果から必要性が高い	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	市民の大部分が関連することから必要性が高い
市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	いつでも、だれでも、どこでも学ぶことができるという生涯学習社会を構築するために、行政の役割は大きい。						
市民アンケートの結果から必要性が高い								
社会情勢、地域事情等から必要性が高い								
市民の大部分が関連することから必要性が高い								
3. 事務事業の効率性について								
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	→	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">低予算、少労力で高い効果をあげている</td> <td rowspan="4" style="width: 35%; vertical-align: top;">判断理由及びその他所見</td> <td rowspan="4" style="width: 15%; vertical-align: top;">生涯学習情報誌の発行に当たっては紙面の有効活用に努めている。</td> </tr> <tr> <td>市で実施するほうが民間委託より効率性が高い</td> </tr> <tr> <td>多額の経費や労力を要するがやむを得ない</td> </tr> <tr> <td>将来的に効率性を向上できる</td> </tr> </table>	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	生涯学習情報誌の発行に当たっては紙面の有効活用に努めている。	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	将来的に効率性を向上できる
低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	生涯学習情報誌の発行に当たっては紙面の有効活用に努めている。						
市で実施するほうが民間委託より効率性が高い								
多額の経費や労力を要するがやむを得ない								
将来的に効率性を向上できる								
4. 事務事業の成果について								
目的を達成するための成果はあがっていますか？	→	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">成果指標の向上が見られる</td> <td rowspan="4" style="width: 35%; vertical-align: top;">判断理由及びその他所見</td> <td rowspan="4" style="width: 15%; vertical-align: top;">情報紙を参考に学習活動を実践している方や、実践発表を目にして新たに学習に参加する方がいるなど、一定の成果があがっている。</td> </tr> <tr> <td>市民、団体等の声から成果を感じられる</td> </tr> <tr> <td>目に見える形で成果があがっている</td> </tr> <tr> <td>成果の把握は困難である</td> </tr> </table>	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	情報紙を参考に学習活動を実践している方や、実践発表を目にして新たに学習に参加する方がいるなど、一定の成果があがっている。	市民、団体等の声から成果を感じられる	目に見える形で成果があがっている	成果の把握は困難である
成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	情報紙を参考に学習活動を実践している方や、実践発表を目にして新たに学習に参加する方がいるなど、一定の成果があがっている。						
市民、団体等の声から成果を感じられる								
目に見える形で成果があがっている								
成果の把握は困難である								

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	市民が意欲的に学習するためには、学習成果を活用できる機会が必要不可欠であり、拡充の余地も大きい。このため、事業の実施方法や周知方法等を工夫して効果的に事業を進めることが必要である。
-----------	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
-----------	----	--